

ADWAYS

1Q FY2025

PRESENTATION MATERIAL

MAY 8, 2025

東京証券取引所プライム市場: 2489

株式会社アドウェイズ

2025年12月期 第1四半期 決算説明会

2025年5月8日 代表取締役社長 山田 翔



ADWAYS
IR CHANNEL

目次

1. 第1四半期の業績	P.04
2. 事業概況	P.17
3. 補足資料	P.40

本資料における記載方法について

- ・ 2021年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しております。それに伴い「旧基準での売上高」を「取扱高」として記載しております。
- ・ 取扱高は、会計監査人による監査を受けた正式な数値ではない事をご了承ください。
- ・ 2021年12月期から決算期を変更した事により、2021年12月期は国内会社9ヶ月間、海外子会社12ヶ月間、2021年12月期第3四半期は国内会社3ヶ月間、海外子会社6ヶ月間となります。
- ・ 2022年12月期より報告セグメントを、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援を行う「エージェンシー事業(国内/海外)」と、UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービスの運営を行う「アドプラットフォーム事業」としております。
- ・ 売上総利益率、販管費率、営業利益率、経常利益率、利益率(親会社株主に帰属する四半期純利益率)、売上原価率、掲載料率は取扱高に対する比率を記載しております。

第1 四半期の業績

当四半期の業績と前年同四半期・前四半期比較

単位：百万円

	2025年 12月期 第1四半期	前年同四半期 から当四半期 推移	前年同四半期比 2024年12月期第1四半期			前四半期比 2024年12月期第4四半期		
			実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率
取扱高	14,073		14,638	▲564	▲3.9%	13,583	+489	+3.6%
売上高	3,136		3,298	▲162	▲4.9%	3,242	▲105	▲3.3%
売上総利益	2,619		2,708	▲89	▲3.3%	2,660	▲40	▲1.5%
販管費	2,382		2,514	▲132	▲5.3%	2,572	▲190	▲7.4%
営業利益	237		194	+43	+22.1%	87	+149	+170.4%
経常利益	346		323	+22	+7.0%	160	+185	+115.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純損益	200		310	▲110	▲35.5%	▲683	+884	—

取扱高 前年同四半期比 5億64百万円の減少 (3.9%減)
前四半期比 4億89百万円の増加 (3.6%増)

営業利益 前年同四半期比 43百万円の増加 (22.1%増)
前四半期比 1億49百万円の増加 (170.4%増)

※ 2024年12月期第四半期の親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため、前四半期増減比率は記載していません。

2025年12月期業績予想と実績

単位：百万円

	取扱高 (参考値)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
通期予想	51,600	11,700	20	170	20
当第1四半期 実績	14,073	3,136	237	346	200
進捗率	27.3%	26.8%	—	203.7%	—

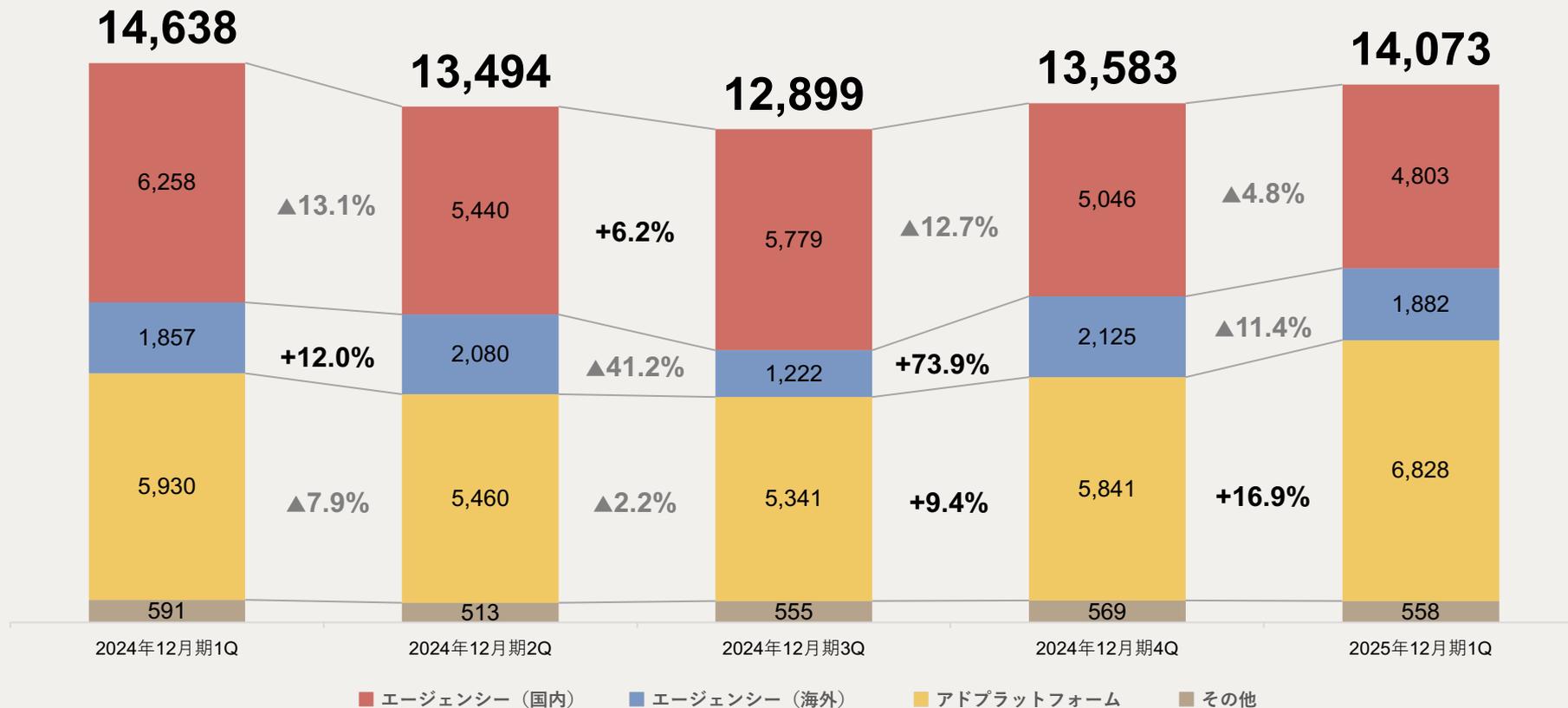
※ 営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の進捗率は1,000%を超えるため記載しておりません。

当四半期のセグメントサマリー

<p>エージェンシー事業 (国内)</p>	<p>セグメント取扱高：48億3百万円 前年同四半期比：14億54百万円減少（23.2%減）</p> <p>クライアントの方針の変更などがありゲームアプリ及びマンガアプリの広告が減少。新規案件の受注が増加しているものの、ゲームアプリ、マンガアプリの減少を補完するほどには伸長せず。</p>
<p>エージェンシー事業 (海外)</p>	<p>セグメント取扱高：18億82百万円 前年同四半期比：24百万円増加（1.3%増）</p> <p>中国では新規ゲームアプリのリリースの増加に伴いゲームアプリの広告が増加。台湾ではLINEの販売が好調。</p>
<p>アドプラットフォーム 事業</p>	<p>セグメント取扱高：68億28百万円 前年同四半期比：8億97百万円増加（15.1%増）</p> <p>UNICORNの「ブランド」及び「その他」のジャンルが大幅に伸長。クレジットカードやローンなどの金融のアフィリエイトについても伸長。</p>

取扱高の四半期推移

単位：百万円



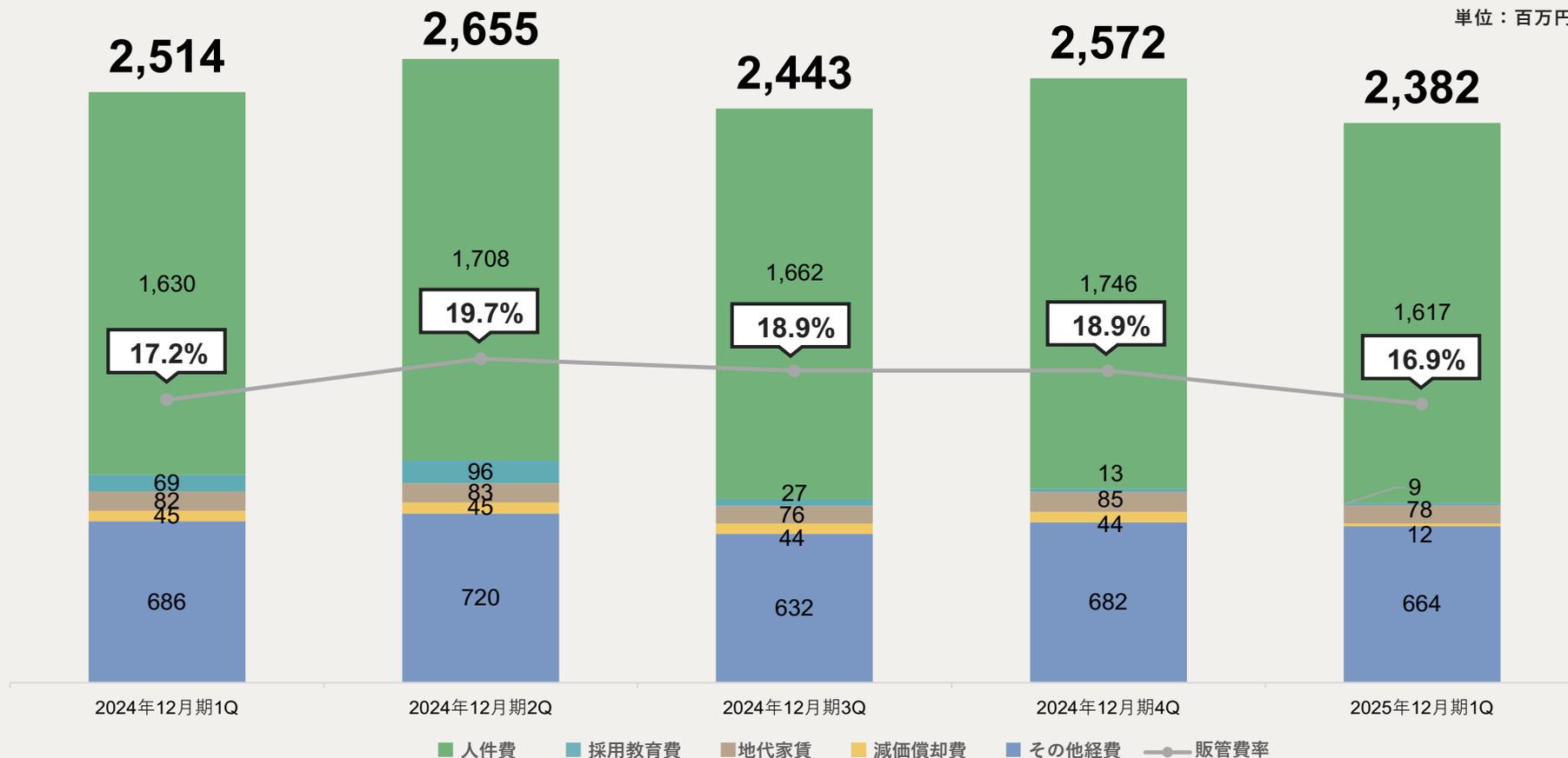
当四半期取扱高 140億73百万円

前年同四半期比：5億64百万円減（3.9%減）

前四半期比：4億89百万円増（3.6%増）

販管費の四半期推移

単位：百万円



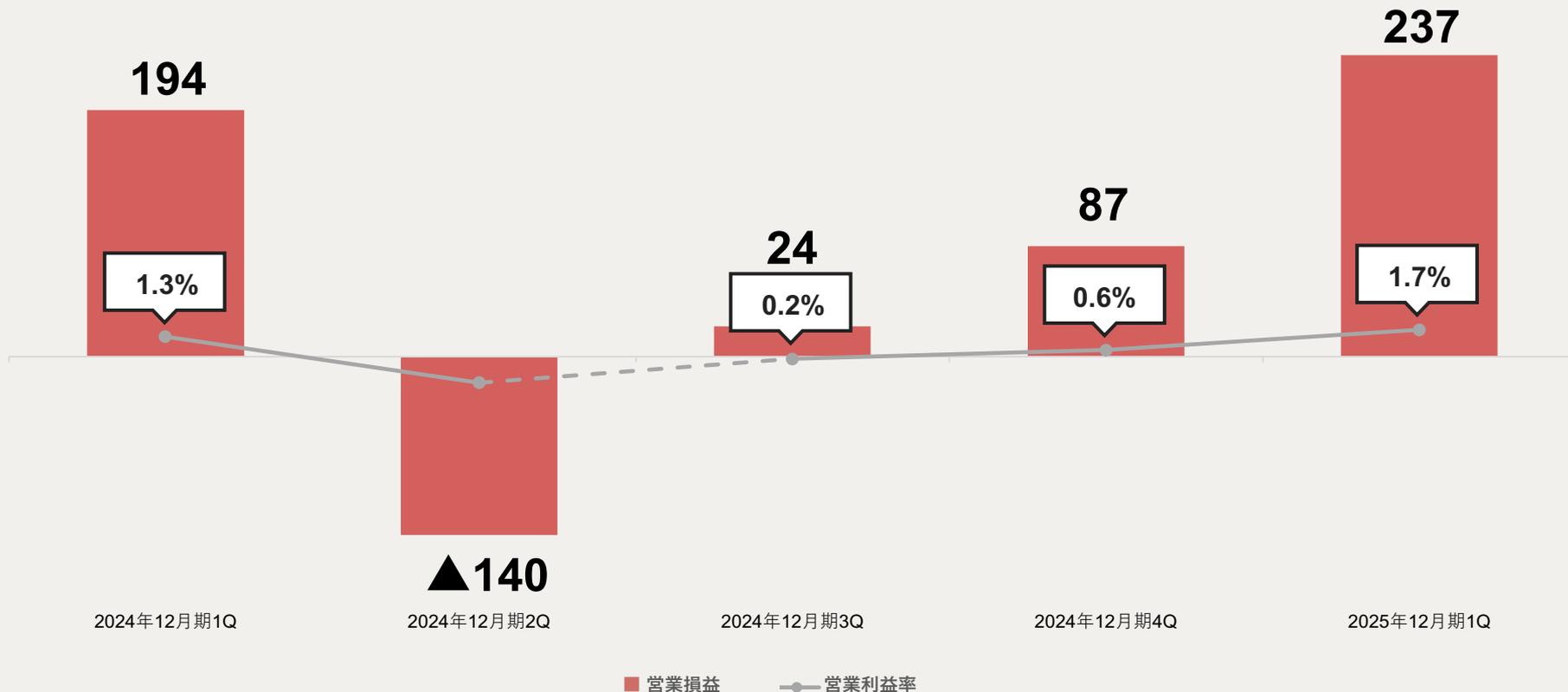
当四半期販管費 23億82百万円

前年同四半期比：1億32百万円減（5.3%減）

販管費率：16.9%（前年同四半期比0.3ポイント減）

営業損益の四半期推移

単位：百万円



当四半期営業損益 **2億37百万円**

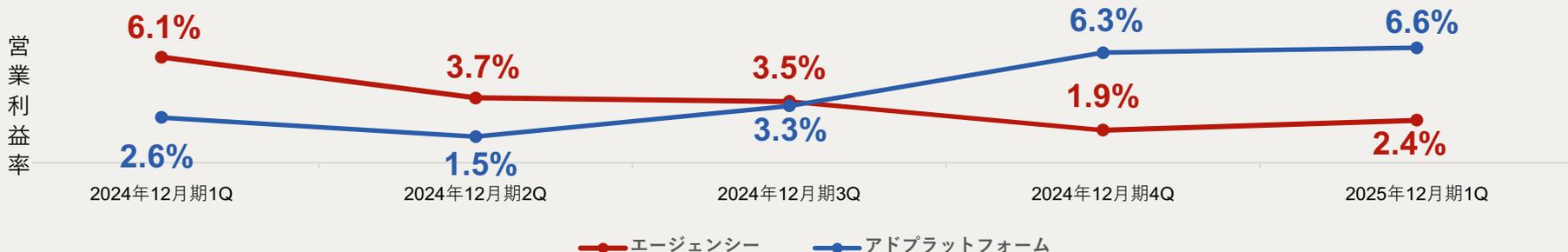
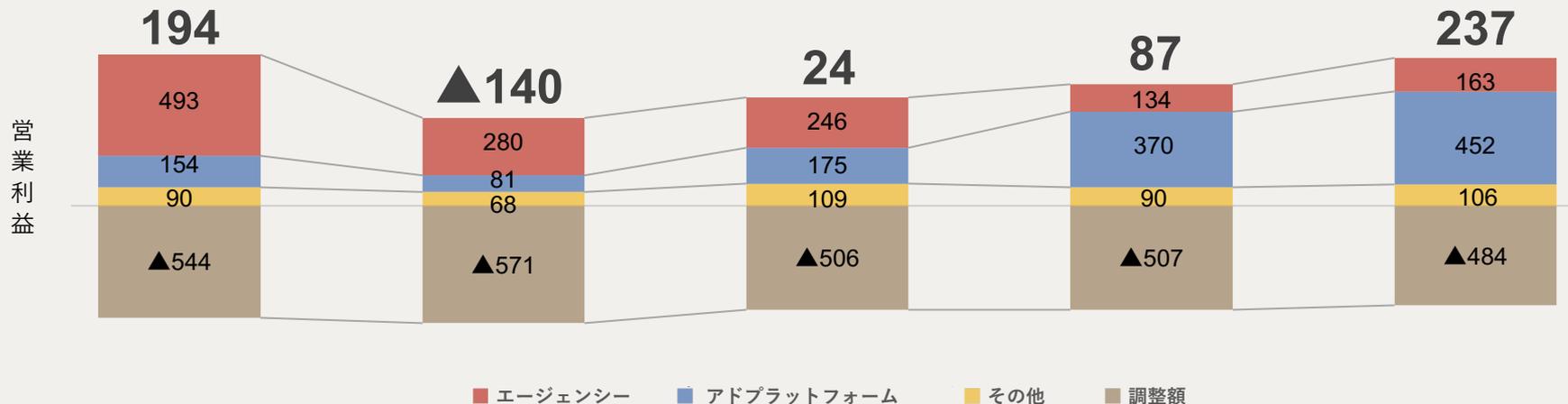
前年同四半期比：43百万円増（22.1%増）

営業利益率：**1.7%**（前年同四半期比0.4ポイント増）

※ 2024年12月期2Qの営業利益がマイナスのため、営業利益率は記載していません。

営業損益の四半期推移（セグメント別）

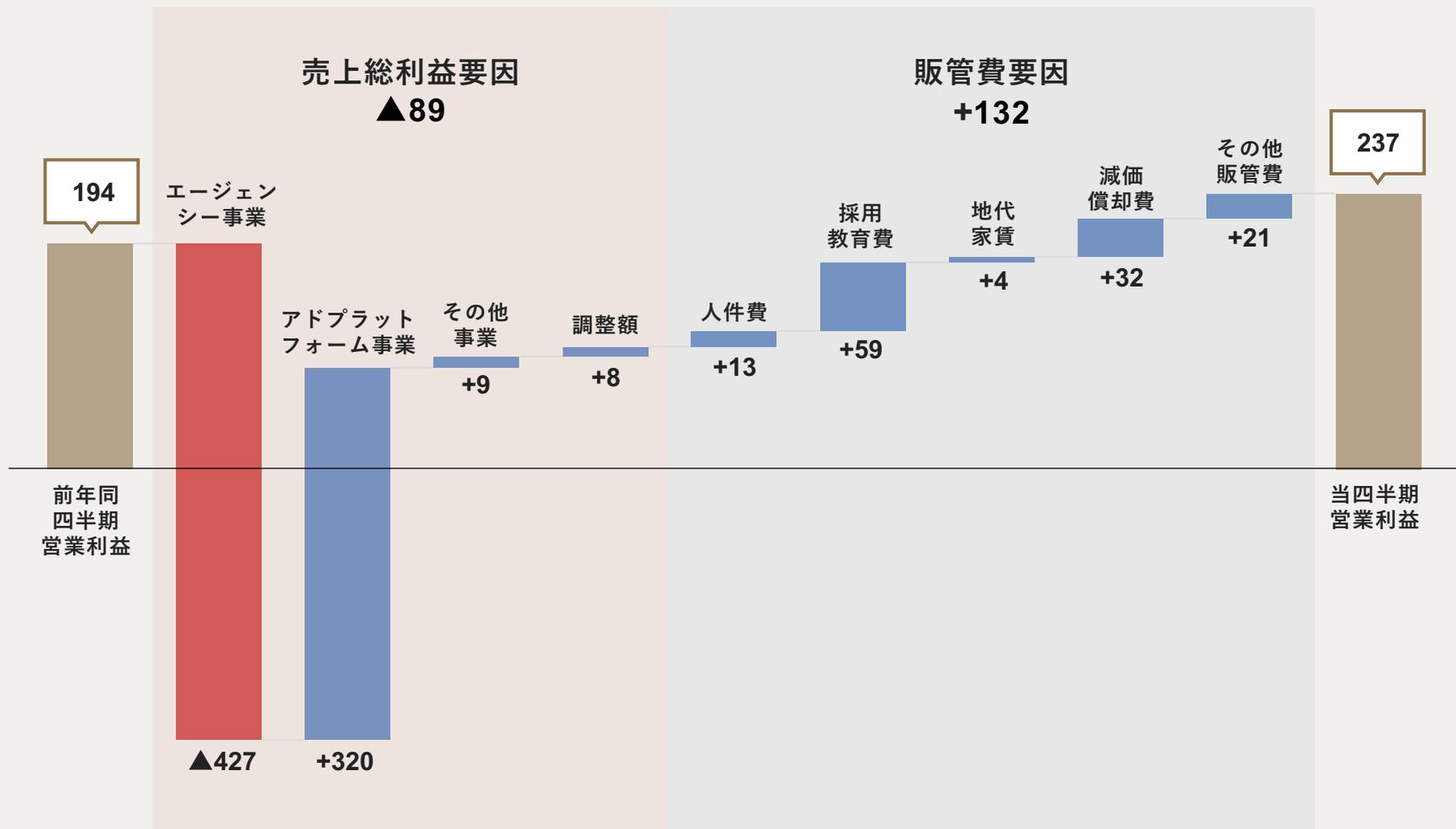
単位：百万円



- エージェンシー** : 販管費を抑制したものの、取扱高が減少したことにより前年同四半期比で営業利益、営業利益率ともに減少。
- アドプラットフォーム** : 取扱高が大幅に増加したことにより、前年同四半期比で営業利益、営業利益率ともに大幅に増加。

連結営業利益の増減要因

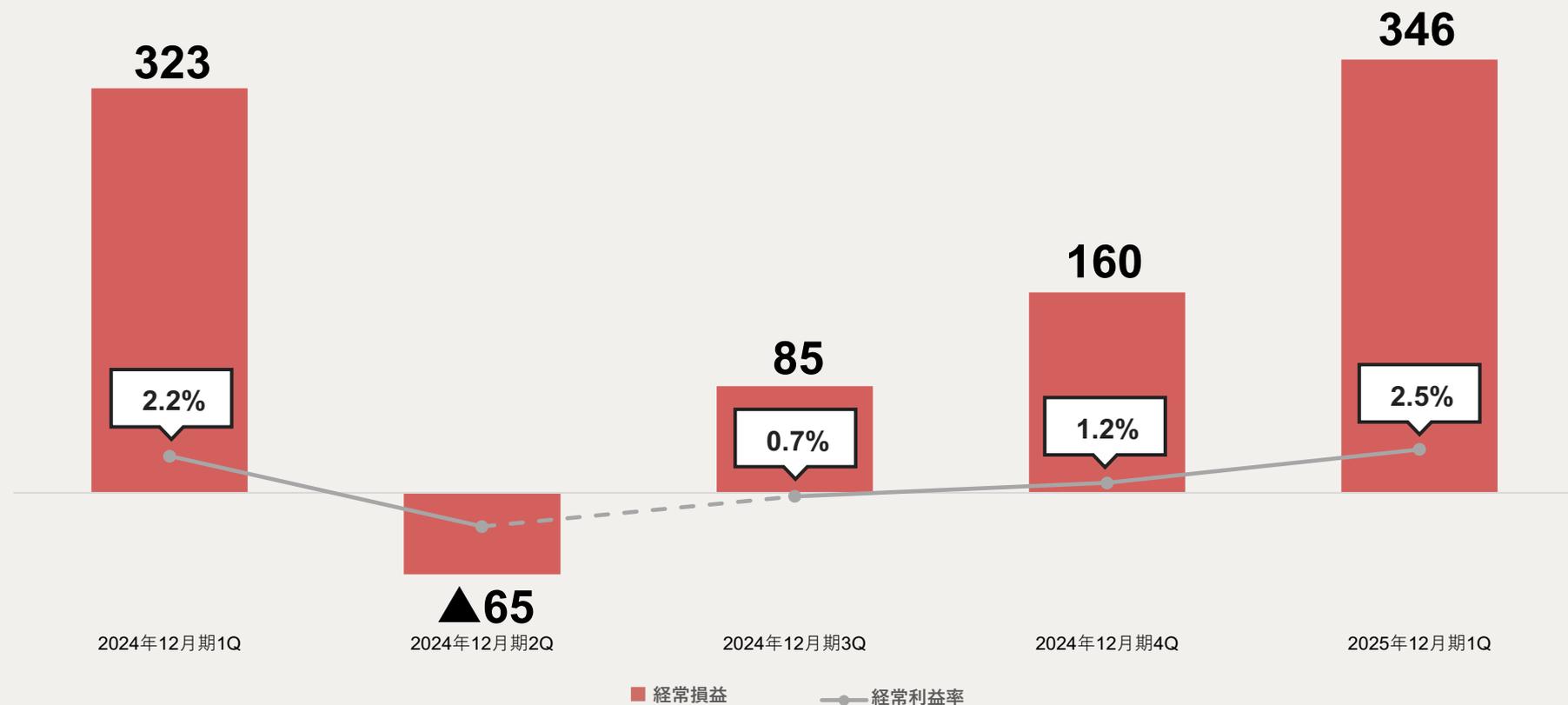
単位：百万円



※増減は利益に対する増減を記載しております（販管費の減少は利益に対して増加「+」としております）。

経常損益の四半期推移

単位：百万円



当四半期経常損益 **3億46百万円**

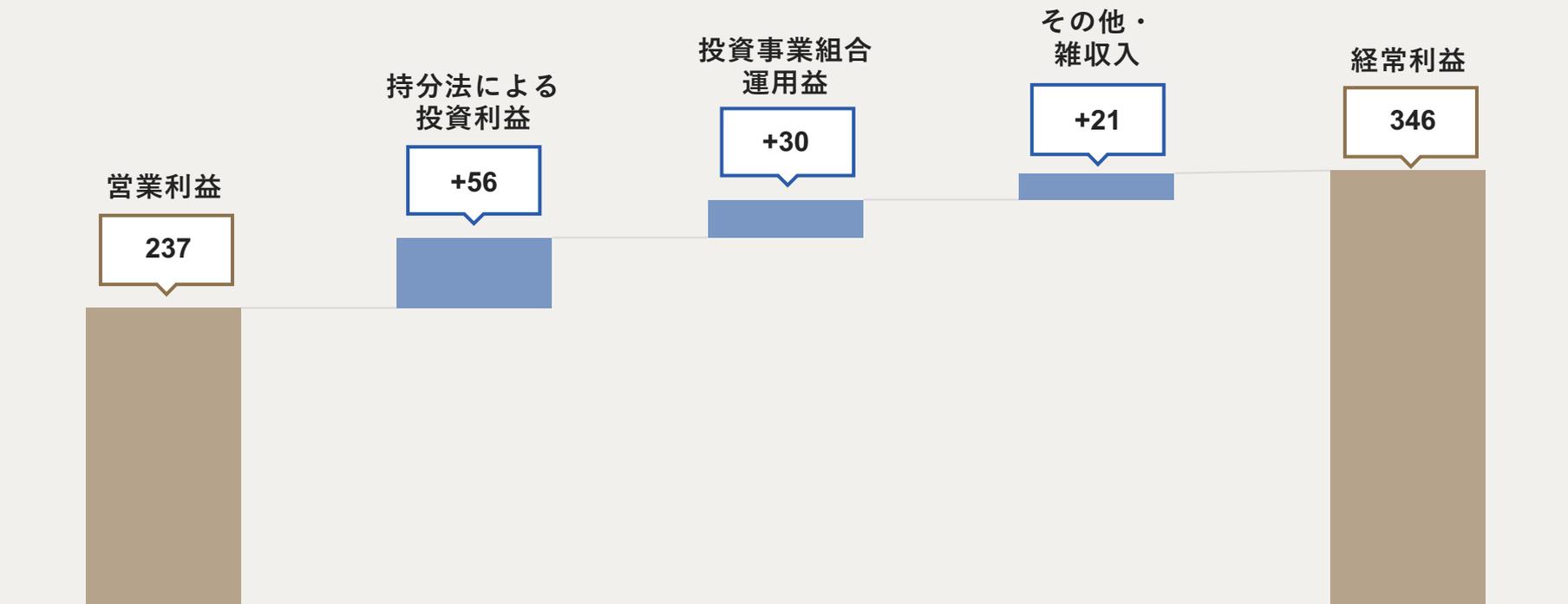
前年同四半期比：22百万円増（7.0%増）

経常利益率：2.5%（前年同四半期比0.3ポイント増）

※ 2024年12月期2Qの経常利益がマイナスのため、経常利益率は記載していません。

四半期経常利益の推移

単位：百万円

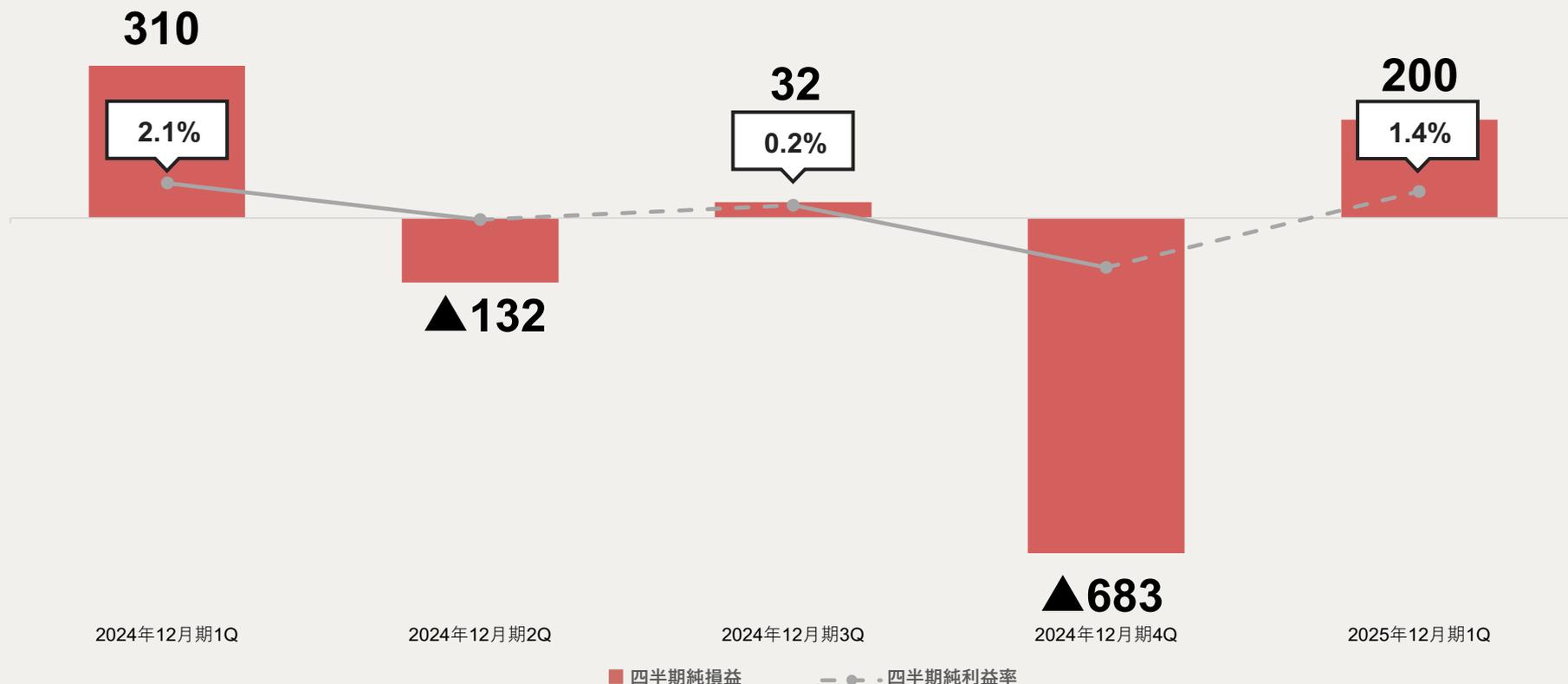


持分法による投資利益 +56百万円
投資事業組合運用益 +30百万円

その他・雑収入 +21百万円

親会社株主に帰属する四半期純損益の四半期推移

単位：百万円



親会社株主に帰属する

四半期純損益 2億円

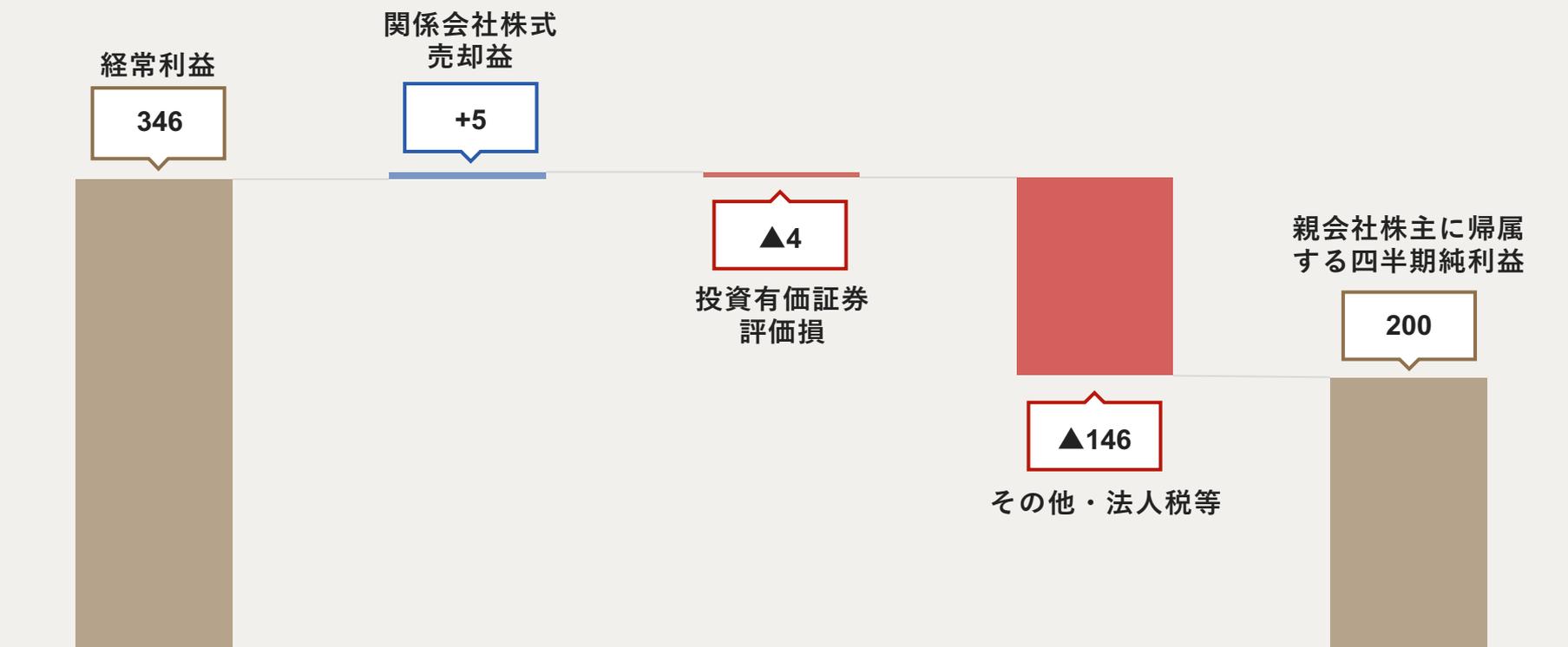
前年同四半期比：1億10百万円減（35.5%減）

四半期純利益率：1.4%（前年同四半期0.7ポイント減）

※ 2024年12月期2Q及び2024年12月期4Qの親会社株主に帰属する四半期純利益がマイナスのため、四半期純利益率は記載していません。

親会社株主に帰属する四半期純利益の推移

単位：百万円

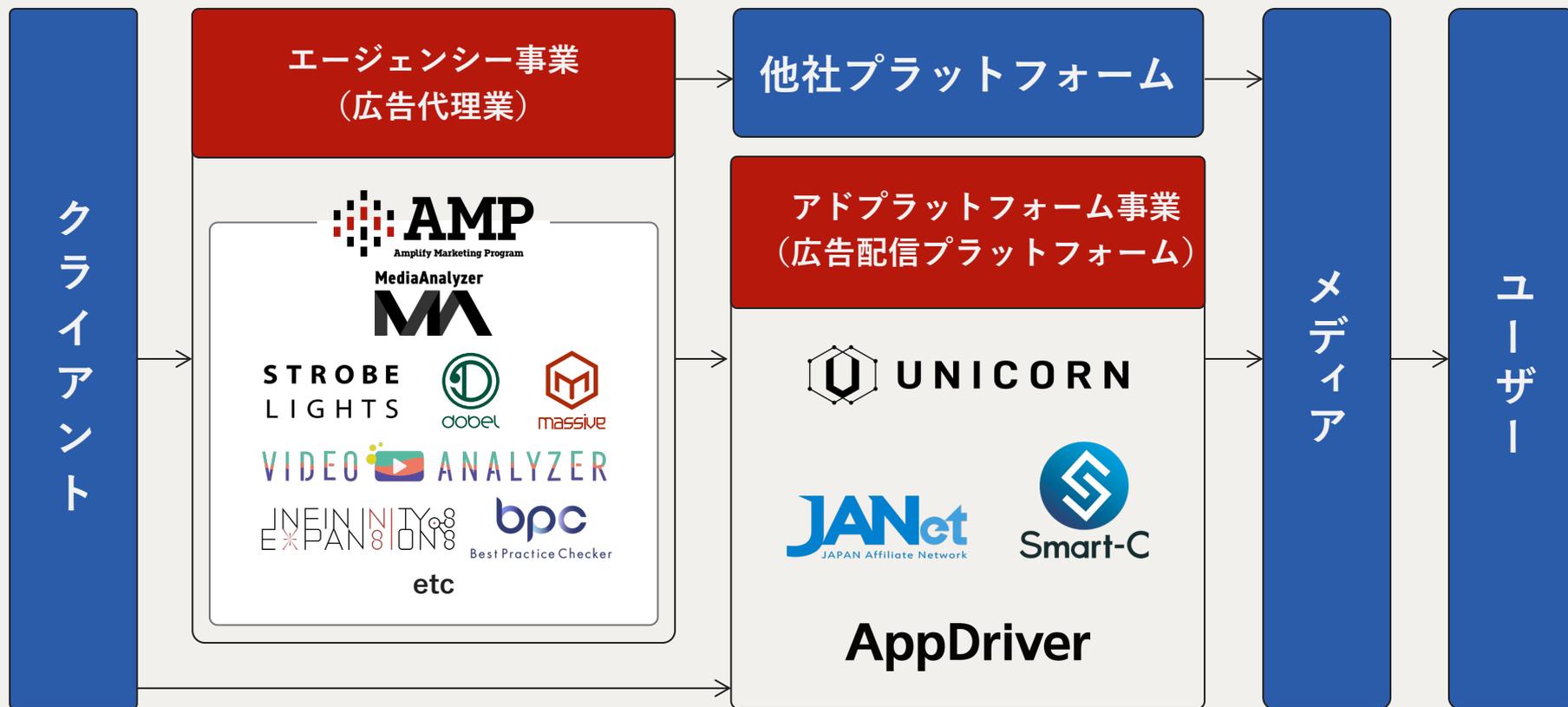


関係会社株式売却益	+	5百万円	投資有価証券評価損	▲	4百万円
その他・法人税等	▲	146百万円			

事業概況

広告事業の概況

広告事業の分類



広告事業を、他社サービスの販売も行うエージェンシー事業と、自社の広告配信プラットフォームを運営するアドプラットフォーム事業に分類。

エージェンシー 事業(国内)

アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援事業

エージェンシー事業 (国内) 事業方針

顧客の事業成長ドライバーとして、マーケティングDXを実現

Hakuhodo DY holdings



エージェンシー事業では、オフライン&オンラインの統合プランニングによる、包括的なマーケティング支援に取り組んでいます。ナショナルクライアント（ブランド広告主）へのアプローチや、“テレビとデジタルの統合プランニング”による“フルチャネル※1”“フルファネル※2”を意識した、より効果的なマーケティングプランを実行するため、広告という枠組みに囚われず、マーケティングコンサルタントとして、あらゆる課題解決に取り組めます。また、「人」による高い運用力・創造力とAIを活用した高度な「マーケティングテクノロジー」を融合し、本質的な広告価値を生み出すことで、クライアントの事業成長を包括的かつ効率的に支援いたします。

※1 フルチャネル：集客するための媒体、経路などを広く活用する事。

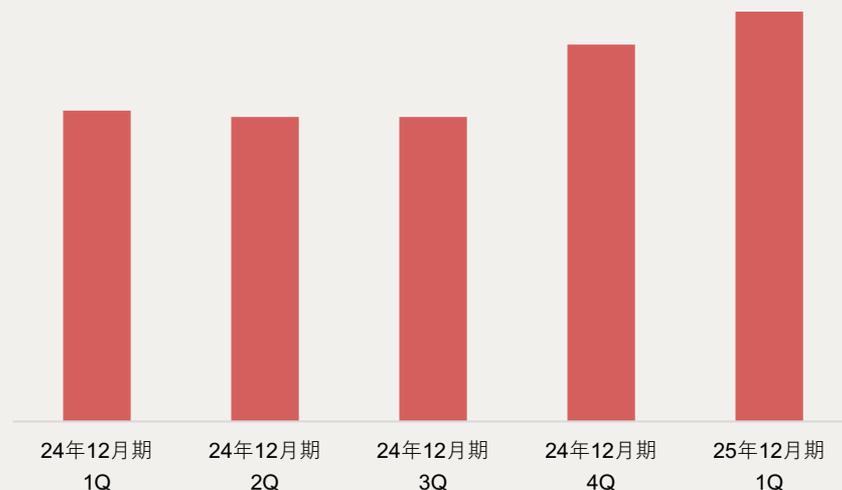
※2 フルファネル：消費者の商品に対する認知や検討、購入（利用）など多くの行動に対応する事。

博報堂 D Y グループ 資本業務提携の進捗

博報堂 D Y グループ 協業
売上総利益推移



博報堂 D Y グループ 協業
アカウント数推移



売上総利益、アカウント数ともに前四半期比及び前年同四半期比で増加。

アドプラットフォーム フォーラム事業

UNICORN・アフィリエイトなどの広告サービス事業



UNICORN
REDEFINE DIGITAL MARKETING.

アドプラットフォーム事業 (UNICORN) 事業方針

チャンネル × 提供価値 × アカウントの3軸で立体的に拡大



UNICORNでは、Apple Search Ads | Todayタブ、検索タブ、検索結果、プロダクトページでの自動最適化配信に加え、コネクテッドTV※1やOTT※2等のサービスと連携し、配信面においても拡大を続けています。また、試験運用を経てYouTubeへの対応が完了し、広告配信メニューの提供を開始。あらゆるチャンネルでのユーザーコミュニケーションの最適化を実現してまいります。

※1 コネクテッドTV：インターネットに接続されたテレビセットに対し広告を配信できるデジタル広告の一種。

※2 OTT（Over The Top）：インターネット回線を通して行われるコンテンツ配信サービスの総称。

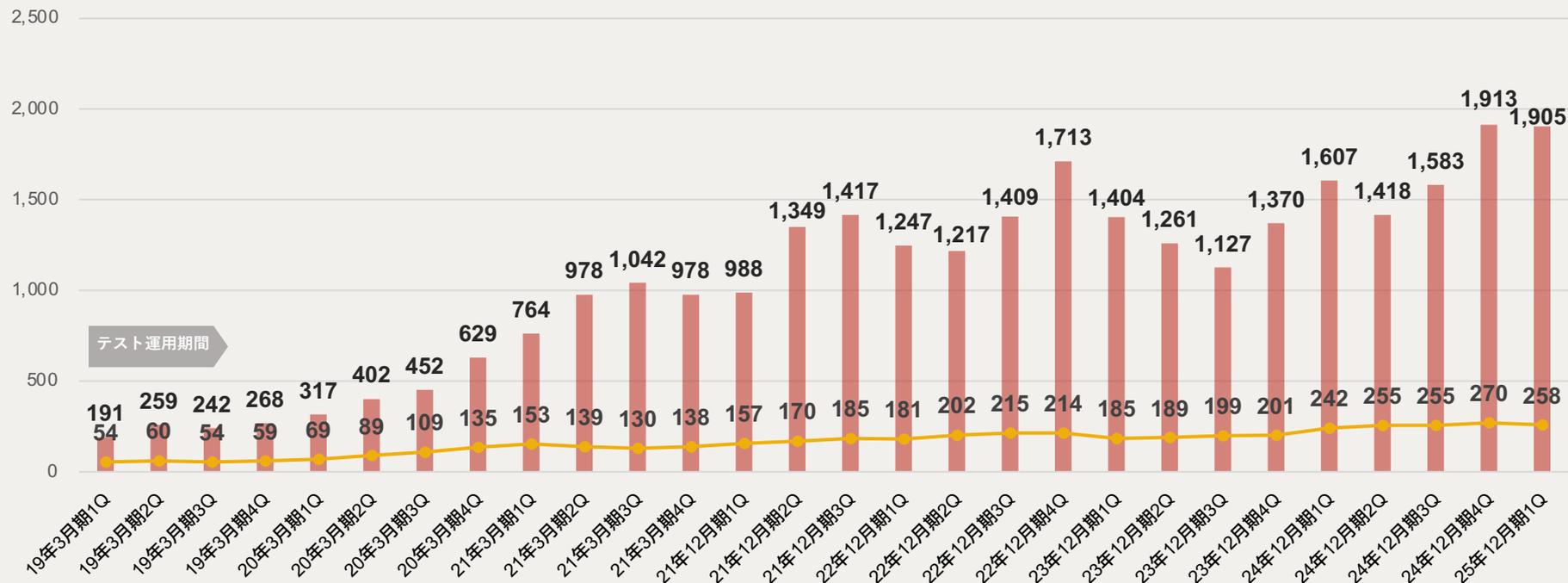
About UNICORN

UNICORNの進捗 (取扱高)

First quarter

UNICORNの取扱高／機械学習コスト推移

単位：百万円



■ 取扱高
■ 機械学習コスト

2021年12月期までの資料では、UNICORN株式会社の取扱高のみを表記しておりましたが、2022年12月期よりUNICORNを専売する当社の部署の取引分も加える事で、グループとしての外部取扱高の表記に変更致しました。そのため、2021年12月期以前の資料と本資料とでは取扱高が異なります。(他商材も扱う部署の取引分は加えておりません)

前年同四半期比119%と大きく成長し、
第1四半期としては過去最高値となる。

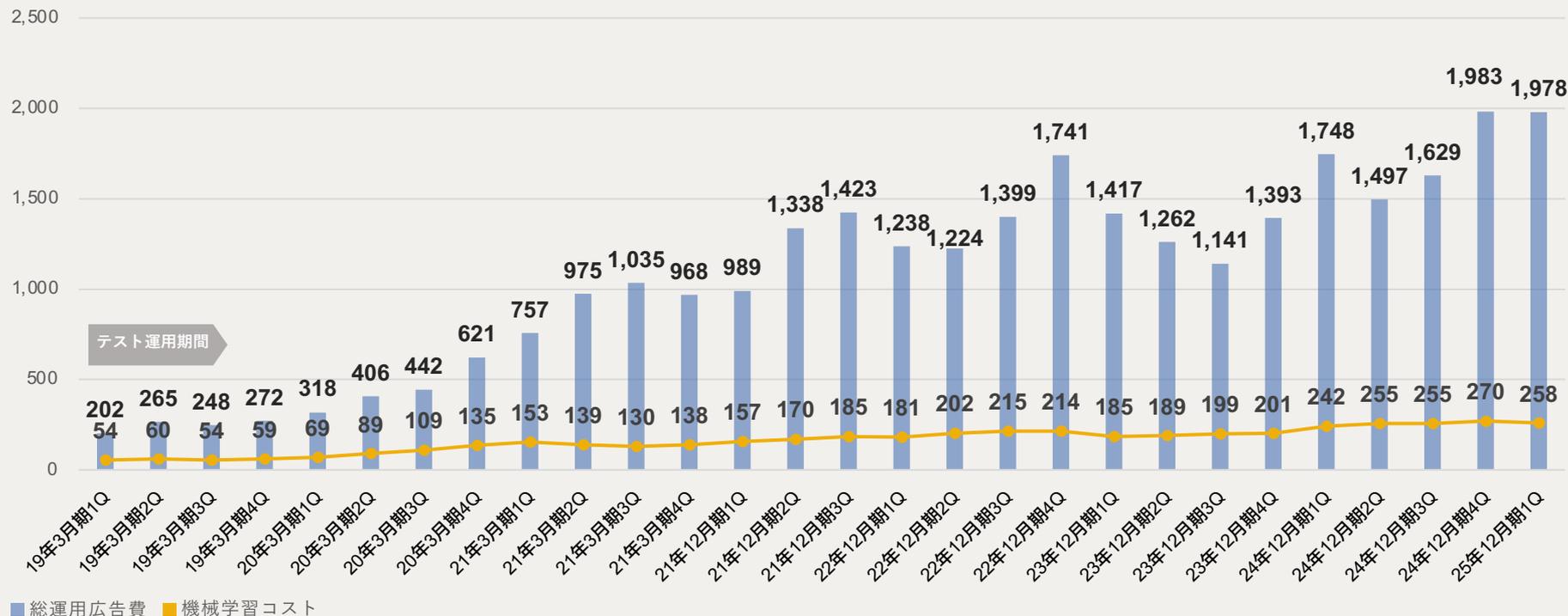
About UNICORN

UNICORNの進捗 (総運用広告費※)

First quarter

UNICORNの総運用広告費※／機械学習コスト推移

単位：百万円



総運用広告費※も前年同四半期比113%と大きく成長し、
第1四半期としては過去最高値となる。

※「総運用広告費」とは、取扱高とは異なりUNICORNのシステムで実際に広告配信を行った金額の総額です。取引先からの要望によりUNICORNのマージン分のみが取扱高になる場合や、取引先との取り決めにより一定の条件を満たした場合に取扱高を減額する場合などがあるため、より正確にサービスとしてのUNICORNの増減を示すため、2024年12月期から「総運用広告費」のグラフを加えております。

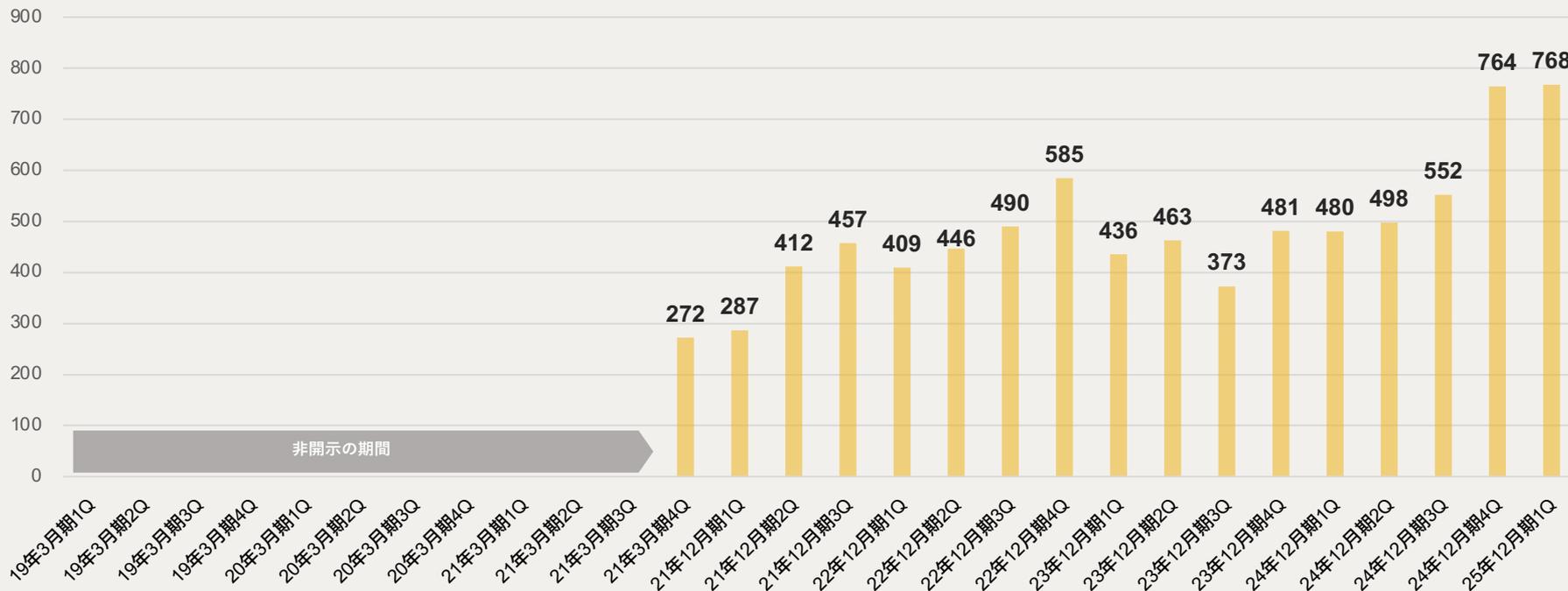
About UNICORN

UNICORNの進捗 (売上総利益)

First quarter

UNICORNの売上総利益

単位：百万円



前年同四半期比**160%**と大きく成長。
前四半期比もプラスとなり、過去最高値となる。

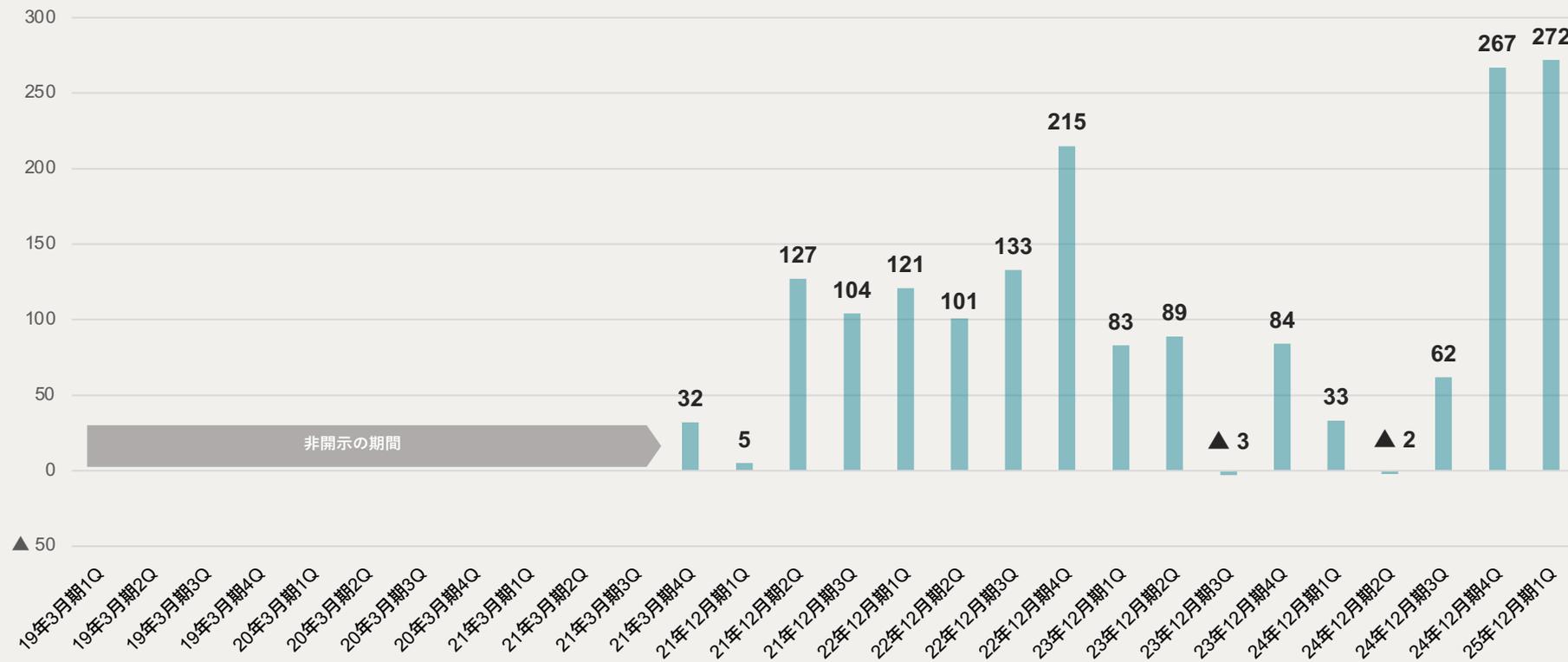
About UNICORN

UNICORNの進捗 (営業利益)

First quarter

UNICORNの営業利益

単位：百万円



前年同四半期比821%と大きく成長。
前四半期比もプラスとなり、過去最高値となる。

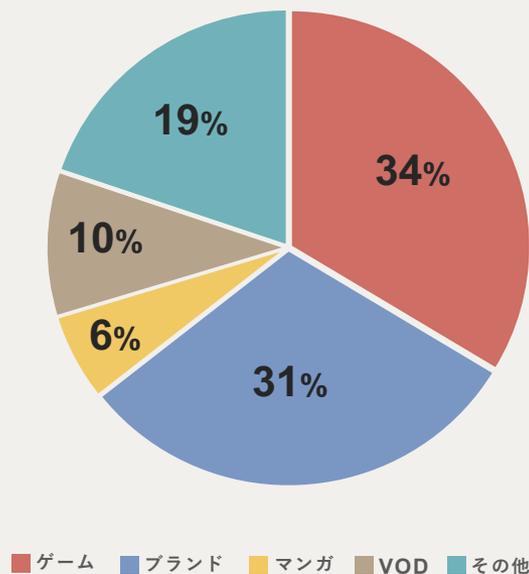
About UNICORN

UNICORNの進捗

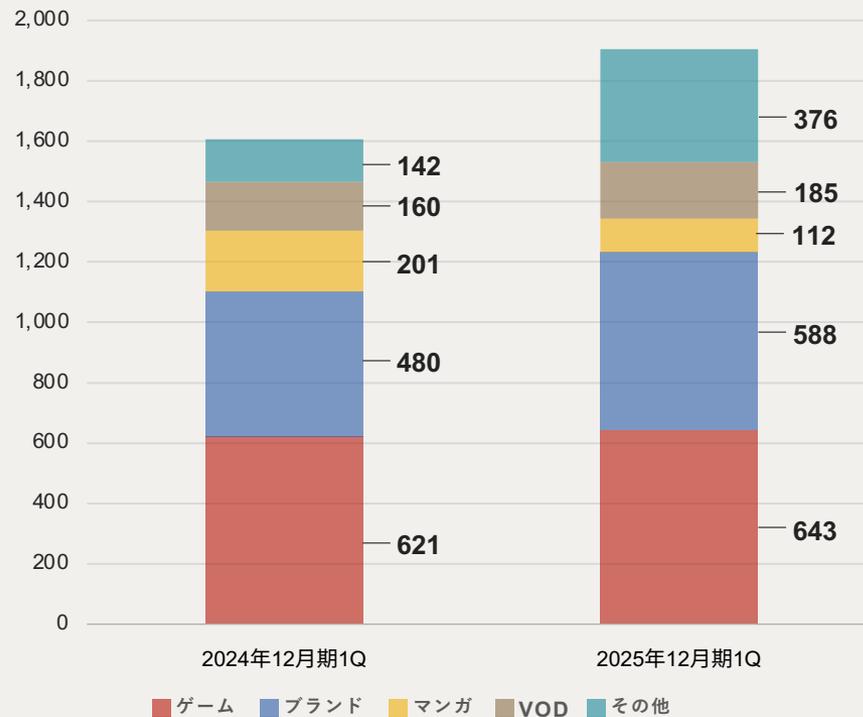
First quarter

ジャンル別進捗

2025年12月期1Q実績



単位：百万円



ジャンル別では「ブランド」・「その他」が大きく伸長。

About UNICORN

UNICORNの業績：前年同四半期比較

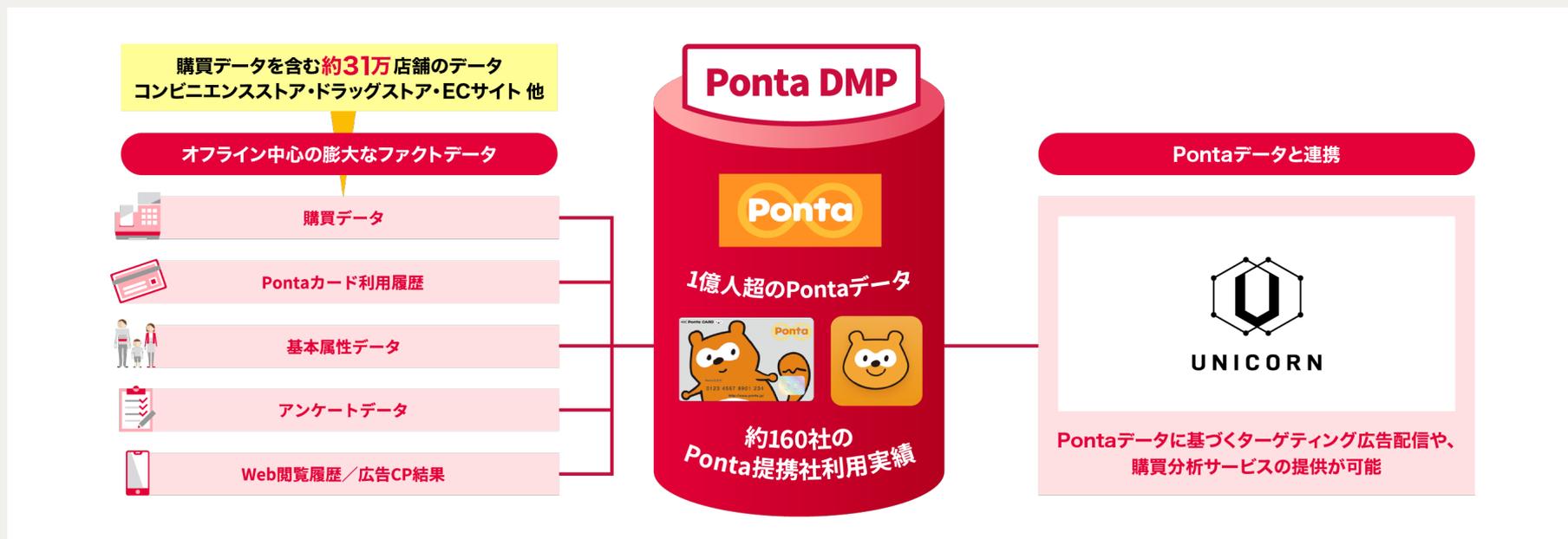
単位：百万円

	2025年12月期 第1四半期	前年同四半期比 2024年12月期第1四半期		
		実績	増減額	増減率
取扱高	1,905	1,607	+298	+18.6%
売上総利益	768	480	+288	+60.0%
営業損益	272	33	+238	+720.5%

取扱高、売上総利益、営業利益、それぞれ前年同四半期と比べて大幅に増加。

UNICORN、ロイヤリティマーケティングと協業し Pontaデータを用いた広告配信の提供を開始

会員数1億人超の国内最大級のポイントサービス「Ponta」運営会社の
ロイヤリティマーケティングが保有するPonta IDに連携した
膨大な消費者の購買履歴に基づく広告のターゲティング配信や購買計測が可能に



消費者の購買行動・消費変化まで捉えた、精度の高いマーケティングを実現。

※ 個人情報は取得していません。

About UNICORN

D E E E

Delight
喜び

Exciting
わくわく

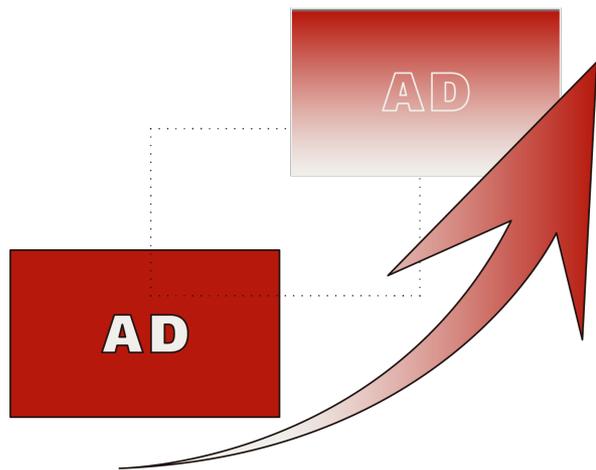
Eager
熱心

Exceed
超える

伝統と革新が融合する、
あたらしい集合体へ。

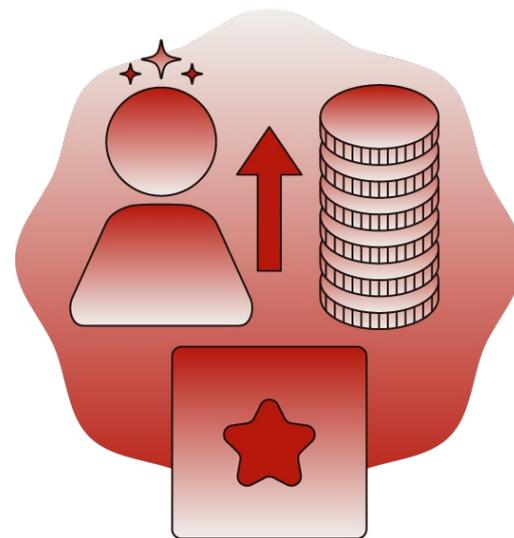
アドプラットフォーム事業 (ADWAYS DEEE) 事業方針

JANet
JAPAN Affiliate Network



アフィリエイト広告を
新たな概念へアップデート。

AppDriver



生活者体験の向上 × メディア収益最大化
を実現するサービス開発の強化。

ライブコマースサービス「LiveKit」を手掛けるBIPROGYと業務連携

ライブコマースサービス「Live kit」を活用した
ライブコマース支援サービスの提供を開始



LIVE
kit

導入、集客、撮影の他、アドウェイズグループの広告ネットワークを活用した
集客施策からマーケティング支援までを包括的にサポート。

リワード広告配信プラットフォーム「AppDriver」の新機能

同一サービスの継続利用をユーザーに促進する
「デイリーミッション」

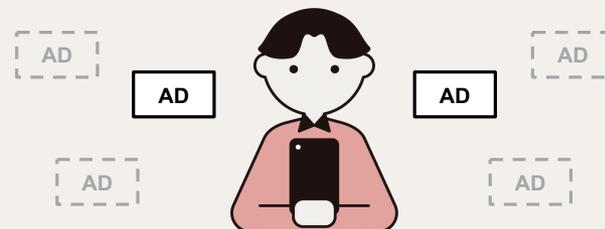
ミッションに挑戦する アクションを起こす 翌日にタスクがリセットされる 成果数に応じて報酬が得られる



ユーザーが毎日成果報酬を獲得できることで、離脱を防ぐだけでなく、モチベーションを維持した状態でのサービスの継続利用を促進。

プッシュ型リワード広告「プッシュリワード」に
「インサイト・フリークエンシー機能」を追加

不要なインプレッションの抑制と
行動データに基づいた効果的な広告配信



CTR※1約**1.5倍**向上* **eCPM**※2約**1.3倍**増加*
*先行リリースバージョンの結果

広告を配信する回数を制限するだけでなく、独自のアルゴリズムを活用し、対象ユーザーの興味・関心に合った広告を配信することが可能。

AppDriverでは、広告主に対する価値の提供とユーザーの広告体験向上に努め、
リワード広告市場でのさらなる成長を目指してまいります。

※1 CTR (Click Through Rate) は、広告が表示された回数に対して、実際にクリックされた回数の割合の事。

※2 eCPM (effective Cost Per Mille) は、広告が1,000回表示されるごとに得られる収益額を表す指標の事。

その他事業 (広告以外)

広告事業以外の新たなソリューション

新たな体験・価値の提供

「オールドルーキーサウナホテル木更津金田」
2025年4月24日オープン



各部屋に本格派サウナ室とチラー付き水風呂を
完備した全客室サウナ付きホテル

新会社「株式会社VECT INNOVATION」を設立
2025年4月1日より事業開始



LLM※/AIを活用したマーケティング支援サービスの開発を推進
マーケティング業務の効率化やコスト削減、成果向上に貢献

広告事業以外での新たなソリューション、事業の多角化を推進

※ LLM (Large Language Model) は、膨大な量のテキストデータとディープラーニング技術を用いて構築された機械学習の自然言語処理モデルの事。

PURPOSE OF ADWAYS

全世界に

「なにこれ すげー こんなのはじめて」

を届け、

すべての人の可能性をひろげる

「人儲け」を実現する。

本日はありがとうございました

本資料は株式会社アドウェイズの事業及び業界動向についての株式会社アドウェイズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確かさ、その他要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社アドウェイズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

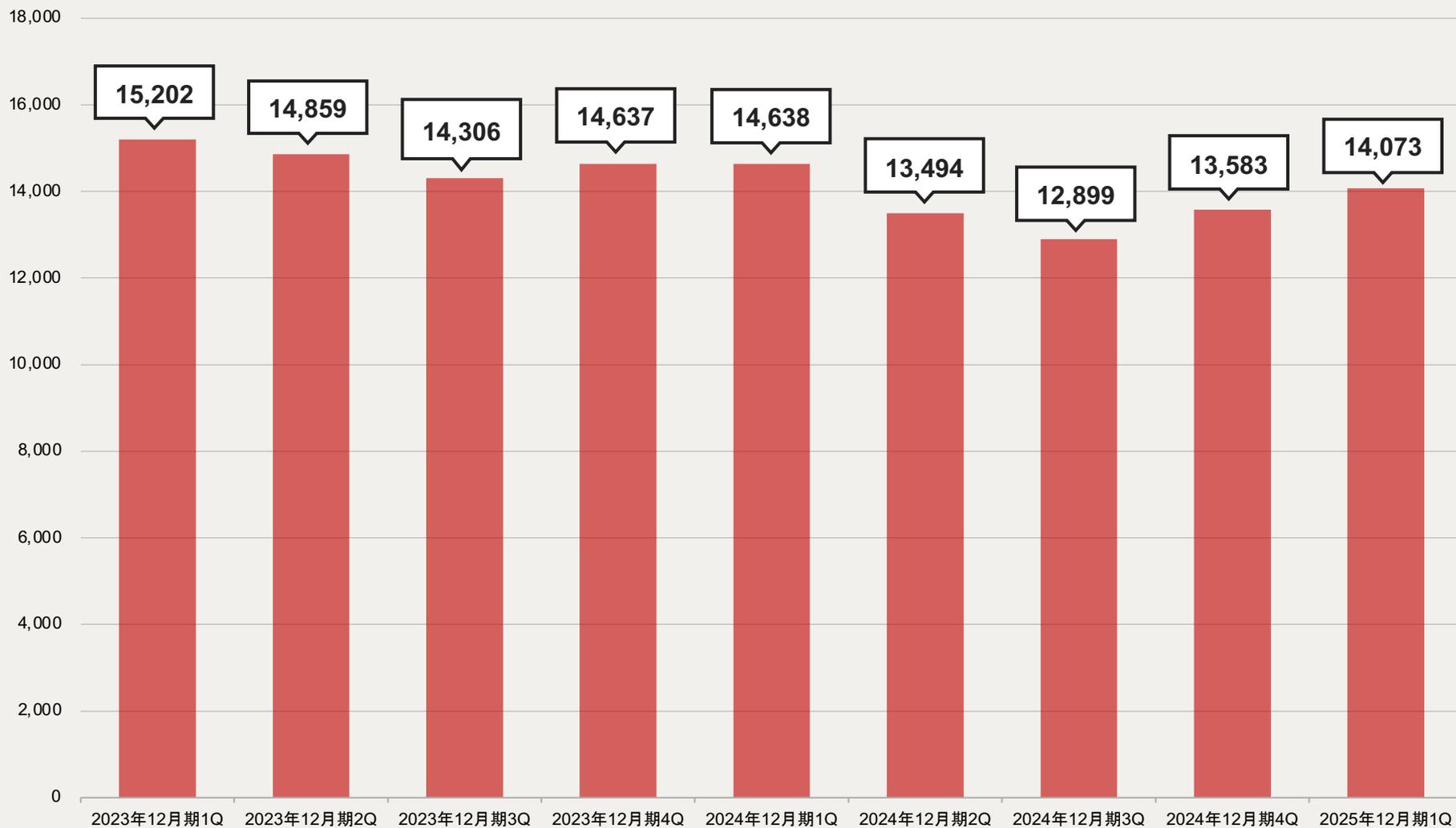
本資料における将来の展望に関する表明は、発表日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社アドウェイズにより2025年5月8日現在においてなされたものであり、様々な要因の変化等によって、実際の業績とは異なる可能性がありますことをご了承ください。

3. Chapter3 : Supplementary materials

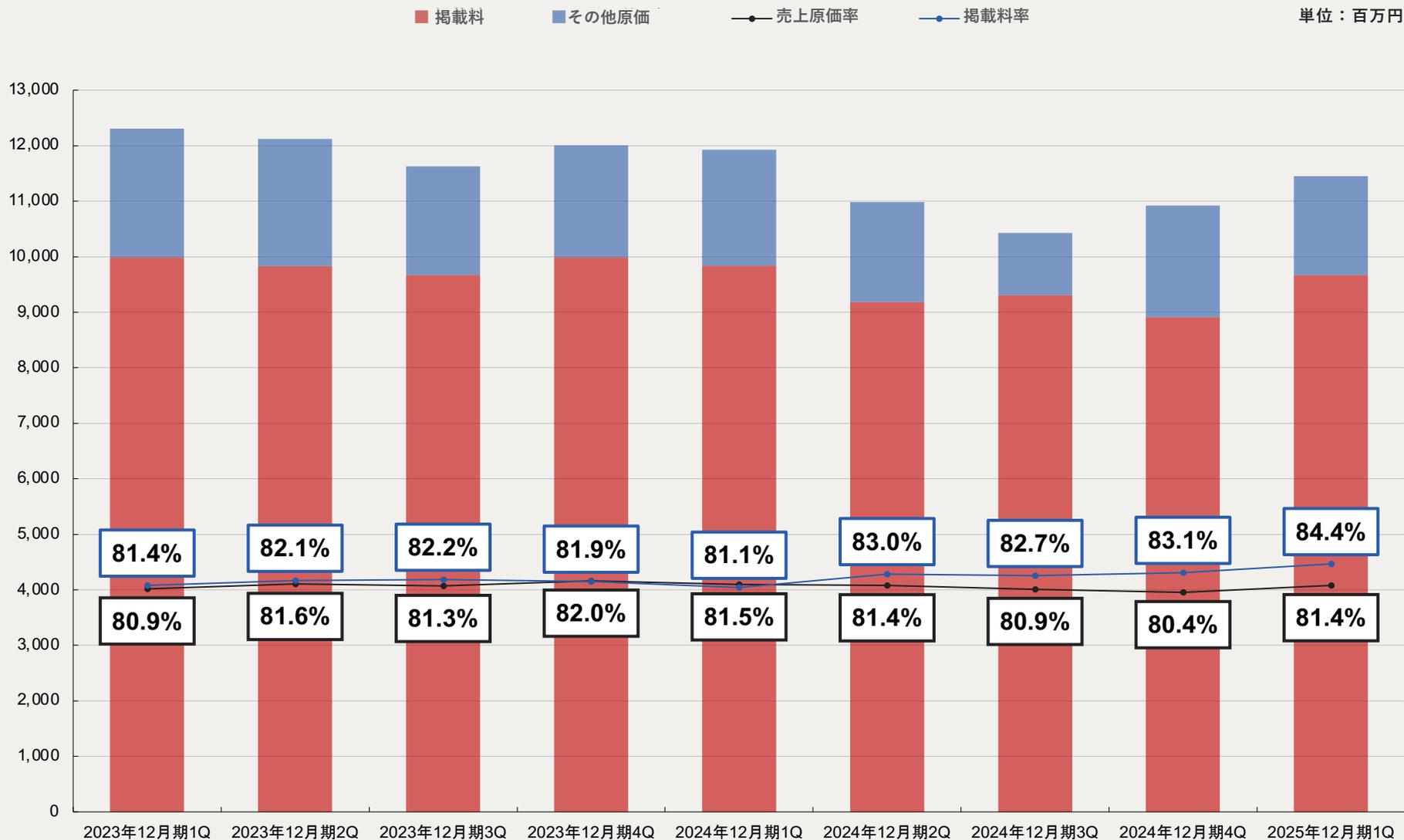
補 足
資 料

連結取扱高 四半期推移

単位：百万円



連結売上原価 四半期推移

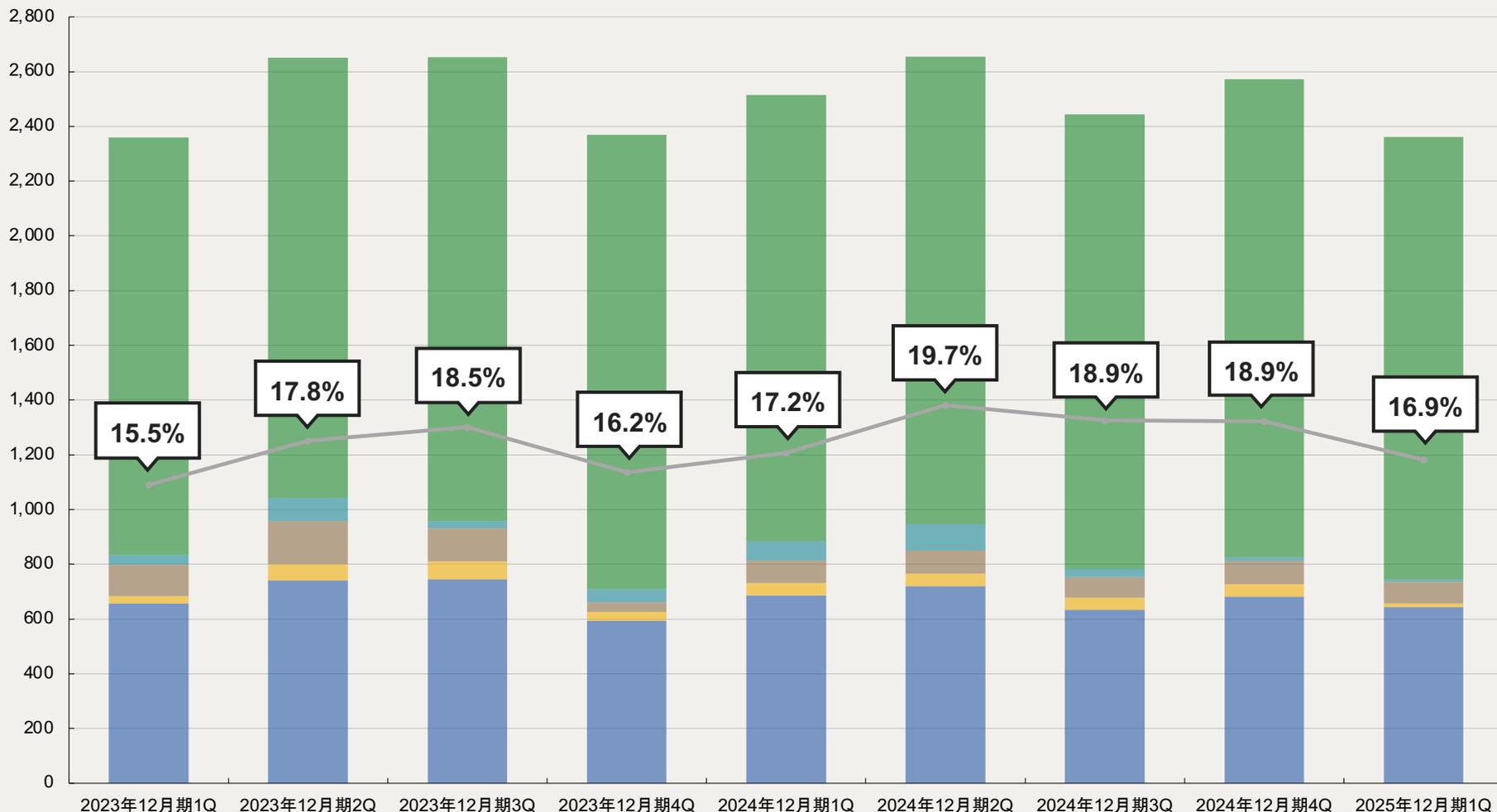


※ 掲載料、掲載料率は単体とADWAYS DEEE合計での数値となります。

連結販管費 四半期推移

■ 人件費 ■ 採用教育費 ■ 地代家賃 ■ 減価償却費 ■ その他経費 — 販管费率

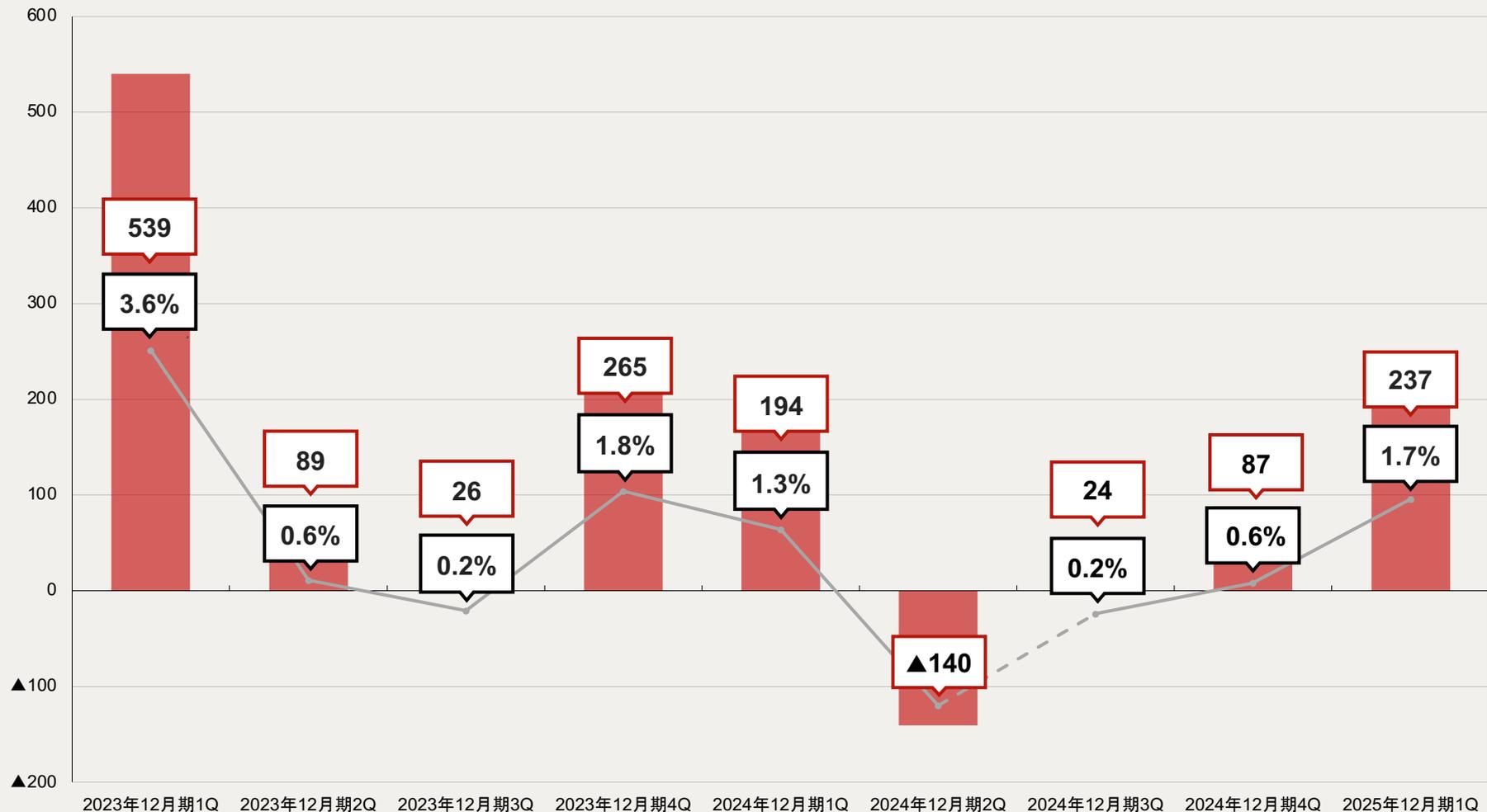
単位：百万円



連結営業損益 四半期推移

■ 営業損益 — 営業利益率

単位：百万円



※ 2024年12月期2Qの営業利益がマイナスのため、営業利益率は記載しておりません。

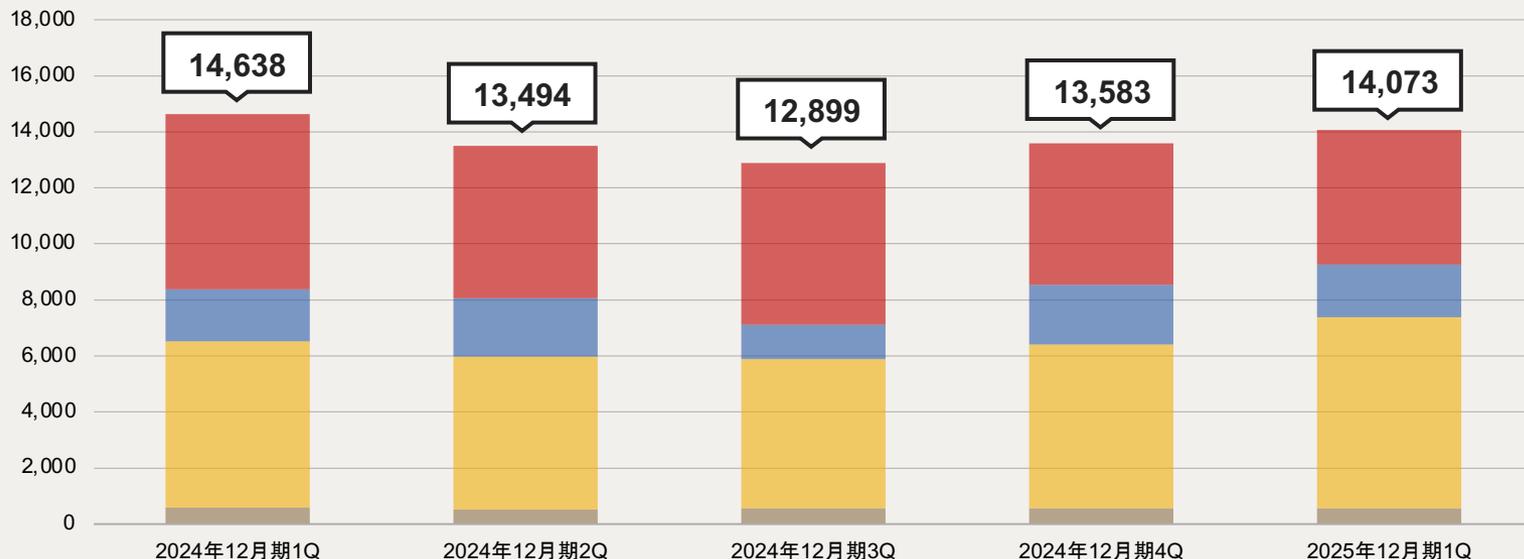
連結貸借対照表(前四半期比)

単位：百万円

	2025年12月期1Q	2024年12月期4Q	増減額	増減率
流動資産	18,885	18,379	+505	+2.8%
(現預金)	10,435	10,035	+400	+4.0%
固定資産	4,531	4,505	+26	+0.6%
資産合計	23,417	22,884	+532	+2.3%
流動負債	9,140	8,633	+507	+5.9%
固定負債	334	366	▲31	▲8.6%
負債合計	9,475	8,999	+476	+5.3%
純資産合計	13,941	13,885	+55	+0.4%

セグメント内訳別連結取扱高構成比 四半期推移

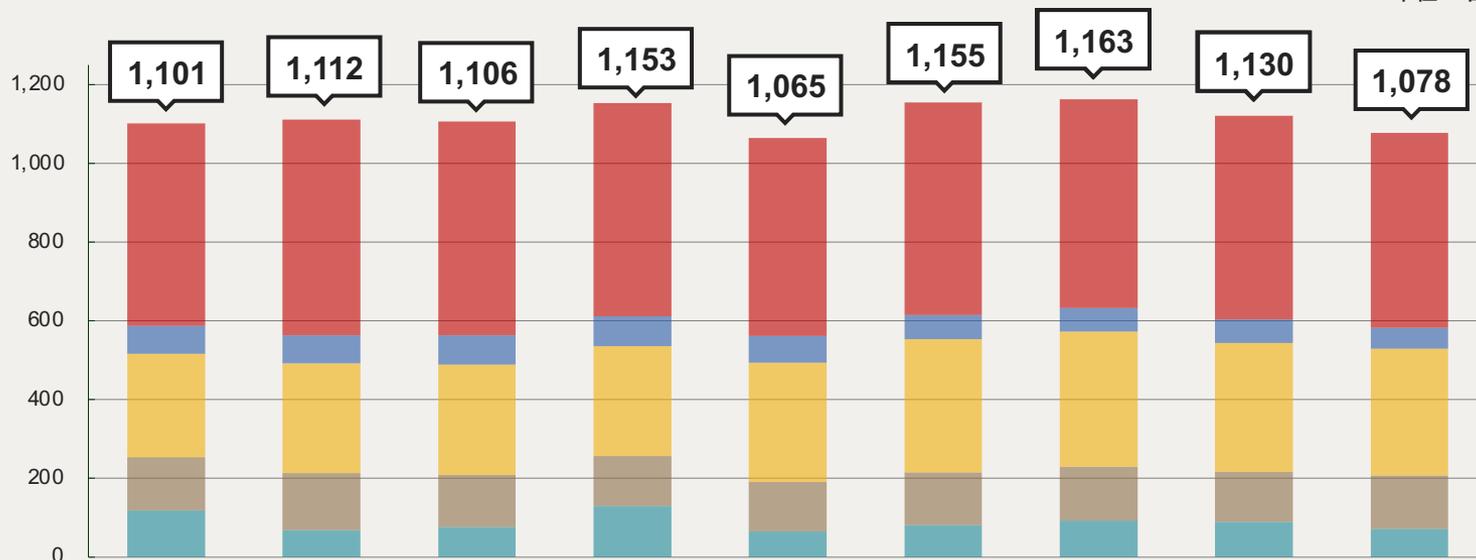
単位：百万円



	2024年12月期1Q	2024年12月期2Q	2024年12月期3Q	2024年12月期4Q	2025年12月期1Q	前四半期比	
						増減額	増減率
■ エージェンシー(国内)	6,258	5,440	5,779	5,046	4,803	▲242	▲4.8%
■ エージェンシー(海外)	1,857	2,080	1,222	2,125	1,882	▲243	▲11.4%
■ アドプラットフォーム	5,930	5,460	5,341	5,841	6,828	+986	+16.9%
■ その他	591	513	555	569	558	▲10	▲1.9%
合計	14,638	13,494	12,899	13,583	14,073	+489	+3.6%

当社グループの従業員数 四半期推移

単位：名



	2023年 12月期1Q	2023年 12月期2Q	2023年 12月期3Q	2023年 12月期4Q	2024年 12月期1Q	2024年 12月期2Q	2024年 12月期3Q	2024年 12月期4Q	2025年 12月期1Q
日本アドウェイズ	513	548	543	542	504	540	531	518	496
中国アドウェイズ	72	72	74	75	67	61	59	59	53
国内子会社	263	279	280	279	303	339	344	332	322
海外子会社（中国以外）	135	145	133	128	125	133	136	132	135
派遣/アルバイト等	118	68	76	129	66	82	93	89	72
合計	1,101	1,112	1,106	1,153	1,065	1,155	1,163	1,130	1,078

※ 2023年12月期1Qより、アドプラットフォーム事業を分割し、子会社化したため、日本アドウェイズが減少、国内子会社が増加しています。

会社概要

会社名	株式会社アドウェイズ（英名：Adways Inc.）
設立年月日	2001年2月28日
事業概要	インターネット関連事業
代表者氏名	山田 翔
資本金	1,717百万円 [2025年3月末日現在]
取扱高	54,615百万円 [2024年12月期連結]
従業員数 <small>※臨時雇用者含む</small>	1,078名（グループ全体） [2025年3月末日現在]